

シャント感染予防について

【シャント外科 医師 谷山 宣之】

シャント感染予防は患者さんの心がけも大事です！

透析患者は一日おきにシャントを穿刺することで細菌が体内に入りやすい環境にあります。特に人工血管を使用しているシャントでは、抗生剤治療では困難なことが多く、細菌が全身に回る前に、人工血管の一部を切除または人工血管を全部取り除く手術が必要になります。皮膚が乾燥しやすい方（特に冬季）、かぶれやすい方、糖尿病をお持ちの方は注意しましょう。具体的な感染予防の方法をまとめてみました。

①かぶれる原因を減らしましょう

- ペンレスなどの麻酔のテープは穿刺する場所が決まっていたら、半分または1/3の大きさに切り、余計なテープかぶれを起こさないようにしましょう。
- 毎回、同じ場所に穿刺するとかぶれやすくなるため、広い範囲で穿刺できるようにスタッフと相談して決めましょう（曜日ごとに穿刺場所を変えるなど）。

②シャント肢を清潔にしましょう

- ペンレスを貼り付ける前にその部分を石鹸で洗いましょう。かなりの菌を洗い流すことができます。
- 穿刺する場所がよくわかっていらっしゃる方は、透析前にはがし、手を洗いましょう。

③止血パットは必ずはがしましょう

- 翌日、止血されていれば、止血パットは必ずはがしましょう。血液には細菌がたくさん増殖しています。

④乾燥から皮膚を守りましょう

- 皮膚が乾燥すると皮膚のバリアが壊れてしまい、細菌が入りやすくなります。べたつかない保湿ローションを使用しましょう。また、乾燥した皮膚はかゆみを伴うため、ひっかき傷を作るとさらに感染しやすい状態となります。かゆい場合には、かゆみを止める塗り薬を処方してもらおうと良いでしょう。

写真：シャント周囲の皮膚かぶれ

